

プレスリリース「はこだてトリエンナーレ」の開催につきまして

旅する芸術祭実行委員会
hakotori@shinhakodate.com
事務局（080-3318-5466）

2009年に初開催された「はこだてトリエンナーレ」を2023年3月に開催いたします。
約3年に一度開催する芸術祭です。

<https://shinhakodate.com/>
<https://shinhakodate.com/2023/>



「旅」をテーマとし**前回2019年度の開催では日本鉄道賞（国土交通省発表）を受賞した**
本芸術祭につきまして、下記内容で開催いたします

はこだてトリエンナーレ2023 概要

- ・主たる会期 2023年3月11日（土）～22日（水）
 - 会期（美術館） 2023年3月11日（土）～22日（水）
 - 会期（交通機関） 2023年3月7日（火）～26日（日）
- ・場所 北海道立函館美術館特別展示室 ほか
- ・料金 入場料1,000円（美術館のみ）・大学生以下無料
- ・主催 旅する芸術祭実行委員会
- ・監修 大下智一（北海道立近代美術館 リサーチ推進課長）
- ・キュレーション 石川潤（メインキュレーター）、ささきようすけ、紀あさ
- ・共催 公益財団法人北海道文化財団
- ・後援 北海道、函館市・函館市教育委員会、北斗市、木古内町
函館国際観光コンベンション協会
- ・助成 公益財団法人野村財団
- ・協力 道南いさりび鉄道株式会社・函館バス株式会社
- ・会場
 - ◎会場1／北海道立函館美術館 [2023.3.11→22]
 - ◎会場2／道南いさりび鉄道「ながまれ号」車両内 [2023.3.7→26]
 - ◎会場3／函館バス「元町ベイエリア周遊号」車両内 [2023.3.7→26]
 - ◎会場4／函館バス「五稜郭タワー前」バス停 [2023.3.11→22]
 - 函館コミュニティプラザ Gスクエア（函館市本町）（イベント時）

テーマ

ART x TRAVel 「北国を旅する芸術祭」

内容

- ・北海道ゆかりの作家らによるアート作品の展覧会
- ・海外作家の作品の展示
- ・トークイベントの開催
- ・学生・若手による美術作品の公募
- ・アールブリュット作品の制作ワークショップと展示 等

目的

これまで続けてきました「はこだてトリエンナーレ」を後継する芸術祭として、「はこだてトリエンナーレ2023」を、北海道立函館美術館を主会場に開催します。

これまでの「はこだてトリエンナーレ」は、函館市内を中心として複数会場に広げる運営を行ってきました。「Stay Home」と言われる日々が続く移動の制限がある中での企画準備を始め、今回、美術にとっての「Home」はどこだろうと考え、メイン会場を「美術館」に構えることで、十分な感染症対策を行い、芸術作品の展示と鑑賞ができるようにします。

2023年は「ART x TRAVel」北国を旅する芸術祭です。この街にはまだ冬の気配が残る季節に北海道の作家らが、雪・白など、冬の北国の旅を紡ぎます。

コロナ禍で、旅の形が変わってきた中で、地元を見つめ直し、道南で芸術分野を志す**若手の作品公募とアールブリュットを新たに特集展示**いたします。多様なアートを発信する芸術祭となりたいと考えています。

トークイベントなども通じ、若い世代も含めた多くの人に、多様な表現によって織りなされた芸術作品やそれを作り出した作家に出会い、交流を図れる機会を提供します。

道南の美術館を中心に、今後の新しい社会の中での人と人とを繋ぐ在り方を、模索していける芸術祭となることを目的として開催したいと考えております。

「旅」の形が変わる中、「旅する芸術祭」での特徴的な企画でもあった「交通機関での展示」については、**前回に引き続き道南いさりび鉄道車両内（ながまれ号）で展示とあわせ、新規に函館バスと協力**、「元町ベイエリア周遊号」車両内と主会場の美術館至近の「五稜郭タワー前」バス停でも展示をいたします

<今回の特集展示>

参加作家

<北海道内>

1. 阿部典英(立体) (あべてんえい)
2. 石川潤(インスタレーション) (いしかわじゅん)
3. 大下茜(絵画) (おおしたあかね)
4. 大野希(写真) (おおののぞむ)
5. 紀あさ(写真) (きのあさ)
6. ささきようすけ(平面)
7. 隅田信城(平面) (すみたのぶしろ)
8. 安田祐子(絵画) (やすだゆうこ)
9. 荒尾悠佳(彫刻) (あらおゆうか)
10. 上野伊都美(陶) (うえのいづみ)

<本州>

11. 木戸英二(平面)=東北 (きどえいじ)
12. 松沢香代(造形)=東京 (まつざわかよ)
13. 黒谷都(パフォーマンス)=東京 (くろたにみやこ)

<海外>

14. 板東綾子(絵画) = ニューヨーク (ばんどうあやこ)
15. Imigongo anywhere (イミゴンゴ) = ルワンダ伝統アート (いみごんごえにほえあ)

学生作品公募

<https://shinhakodate.com/2023/category/news/>

学生または22歳以下の作品を2022年12月に公募しました、応募のあった中から、10人の作品を展示します。美術に取り組む高校生で、高文連全国大会出場の小仲実桜など、市立函館高校と北海道函館西高校に通っている学生です。

半立体 大内滯（おおうちみお）

平面 小仲実桜（こなかみお）、後藤くるみ、高沢さくら（たかさわ）、館なぎさ（たて）、藤井新（ふじいあらた）、松村拓真（まつむらたくま）、本谷涼風（ほんやすずか）、三原怜奈（みはられな）、横山大翔（よこやまはると）

アールブリュット展示

ささきようすけが道南の福祉作業所（社会福祉法人侑愛会 ワークセンターほくと）の作品制作をリードしました

函館市・北斗市など函館近郊在住の13人が参加

小山敦司（ペンと色鉛筆で個性的な魚や動物を描く
北海道知的障がい者芸術祭「みんなあーと2022」受賞）

佐藤雄介（色鉛筆でカラフルな独自の動物を描く）

A.K（小さな文字の集積で車などを描く） など

栗田 隼也（あわたじゅんや）、A.K、池上 理香、小笠原 一子、北村 和之、熊谷 彰浩（くまがいあきひろ）、小林 重子（しげこ）、小松 明子、小山 敦司（あつし）、小山 智司（さとし）、佐藤 雄介、千田 倫史（せんださとし）、三島 直也



期間中イベント-----

オープニング トークイベント

日 時／2023年3月11日（土）18：00開場・18：30開演

場 所／函館コミュニティプラザ Gスクエア（入場無料）

登壇 阿部典英（美術家）大下智一（道立近代美術館リサーチ推進課長）

石川潤（はこだてトリエンナーレ2023キュレーター／市立函館高校・美術教諭）

テーマ／北海道アートのこれまでとこれから

アールブリュット・公開制作

日 時／2023年3月11日（土）13:00開場・13:30開演

場 所／函館コミュニティプラザ Gスクエア（入場無料）

出 演／社会福祉法人侑愛会 ワークセンターほくと

（小笠原 一子、小林 重子、池上 理香、下重 憲一、佐々木 里美、片岡 広美）

はこだてトリエンナーレに出展するアールブリュットの作家らが公開制作を行います。絵の具を使って3人ずつで大きな作品を仕上げます。完成後はGスクエアで展示予定です

ライブパフォーマンス

日時／2023年3月21日（火・祝） 13：00～／15：00～（上演＝各約20分）

場所／北海道立函館美術館 展示室内（展示の入場券が必要です）

出演／Ku in Ka（ヒト：黒谷都、モノ：松沢香代）

内容／人形演劇界の巨匠・黒谷都と、はこだてトリエンナーレ出展作家の造形作家・松沢香代のユニット「Ku in Ka」が北海道発上陸。演目は「griza」より「水蜘蛛」。
3月21日は「世界人形演劇の日」です。



ギャラリートーク

土曜・日曜の15時～、日替わりで作家が展示作品について美術館でトークを行います

3月11日 アーティスト（安田） 進行 紀

3月12日 アーティスト（上野） 進行 石川

3月18日 アーティスト（隅田） 進行 石川

3月19日 海外アーティスト＝オンライン（板東&イミゴンゴ） 進行 紀

関連イベント-----

Gスクエア×はこだてトリエンナーレ

日時／2023年3月7日（火）～22日（水） 9：30～21：30

主催・場所／函館コミュニティプラザ Gスクエア（入場無料）

展示／佐々木一斗、ささきようすけ、Novyah、ワークセンターほくと

3月11日の「アールブリュット・公開制作」で制作した作品も展示します

準備日程（参考）

3月6日(月)10時～12時 いさりび鉄道「ながまれ号」車両内搬入

3月6日(月)15時以降 函館バス「元町ベイエリア周遊号」車両内搬入

3月6日(月)12時～ Gスクエア×はこだてトリエンナーレ搬入

3月9日(木)・10日(金) 9時～17時 函館美術館搬入

3月9日(木)18時～ バス停「五稜郭タワー前」搬入



前回開催時の道南いさりび鉄道車両内作品と搬入の様子

以上です 多くの方にご来場いただきたく思っております どうぞ宜しくお願い申し上げます